大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　三月十四日（水）

軍閥時代の最悪税
水利税撤廢さる
いよ〳〵來る十五日から

【奉天國通】舊軍閥時代の悪政中農民特に鮮農搾取の不法税であつた奉天省の水利税撤廢も愈よ本月十五日附省令をもつて公布されることゝなつた、右省令の趣旨は左の通りである

土地を耕租するは土地を使用するものと見做す、故に日鮮人は等しく其土地農業上の利用價値増進のための灌漑、排水又は水害豫防施設を爲し組合員となつて利用する土地の面積を收益把握に依る等級に應じて合理的組合費を負擔する、之により日鮮人水田經營は今後益々有望視されるに至つた

北行各列車
増結尚超滿員

【大連國通】滿洲國帝政實施されて以來その樂土を慕つて又各種事業の勃興期を控へこの新現象は『滿洲』を目指しての入國者の激増である、殊に山東方面よりの入滿者の近來に於ける激増振りは全く驚異的數字を示して居り、十日の如き一日間に五千三十名の山東苦力の上陸を見、この傾向は今後益々増加するものと觀られてゐる

これを大連より奧地に向つての列車乘客數について見るもそれは歴然たる事實で、毎列車増結に増結を重ねても超滿員の盛況である即ち去る十日の一五列車は三百二十名の客員に對して一千六百五十名、一九列車は定員四八〇名に對して一千四百十四名、十一日は更に五百三十名を乘せた臨時列車を編成して輸送した、以上は大連、奉天間に於ける三等乘客の數字であるが、奉天よりは『更に』増加してゐる、それは奉山線經由の入國者があるからで、これを合するなら、おびたゞしい數となり注目されてゐる

目覺しい
日本資本の流入

【ハルビン國通】北滿の產業開發のため日本の資本は漸次大々的に投ぜられる傾向にある、即ち目下計畫中の企業は

一、北鐵東部沿線阿什河の製糖會社（二百萬圓）
一、呼蘭縣の製糖會社（一千萬圓）
一、資本金二百萬圓を以てハルビンに日滿製粉工場が開設される
一、莫大な資本金を以てビール會社が近く開設される
一、資本金二百萬圓のセメント會社が開設される

解氷期の投資額は二千七百萬圓の巨額に達すと見込である、右實現の上は失業者は救濟されるのみならず北滿の產業は實に目覺しい發展を遂げるものとして前途に多大の期待が懸けられてゐる

在哈ポーランド居留民
波亞銀行開設を計畫

【ハルビン國通】在ハルビンポーランド居留民は滿洲國とポーランドとの通商貿易發展を圖るため波亞株式會社及び波亞銀行を開設すべく計畫中である

第二日午後の
全滿地方委員聯合會

【奉天國通】第二日午後の全滿地方委員聯合會は十三日午後一時續開、劈頭鹽尻議長より午前の滿洲產業銀行設立に關する件に對する特別委員五名を任命したる後大原君（新京）の緊急動議により小磯參謀長の今回の榮轉に對し全滿地方委員會の名を以て感謝の意を表する件を滿場拍手を以て可決し議事に入り

一、邦人奧地進出妨害除去方關係當局に要望の件（新京）を可決、次いで
一、滿鐵の委任經營、國道沿線の國道用地警備方要望の件（大石橋）を上程したるも反對意見あるため採決に入り遂に保留さる、引續き
一、關外支那勞働者輸入禁止令緩和の件（鞍山）を決して五分間休憩、午後二時五十五分續開、直ちに議事日程に入り
一、滿洲國官吏の消費組合阻止方請願の件（奉天）を上程討議したが贊否兩論に分れ意見續出となり結局議長の發議で本案に關しては全員善處する條件の下に保留され
一、農業移民實行上商租權設立方促進の件（公主嶺）
一、滿鐵土地貸付料金値上を地方別に考慮されたき件（大石橋）を可決、次いで
一、滿鐵借地の耕地料金率を此のまゝ延長の件（蓋平）の外借地料遞減に關する五件を上程一氣呵勢に可決、更に
一、不動產登記手續の統制に關する件（[illegible]原）を上程、提案者より右不統制

北平市場に
滿洲國紙幣出現
當局極度に狼狽

【北平十三日發國通】最近當地市場に滿洲國の紙幣が出現し支那紙幣より一割位の高價で通ずるに至り支那當局を極度に狼狽して居る

滿洲へ滿洲へ
滿鮮案内所の契約
既に三百三十六團體

【奉天國通】愈よ旅行シーズンも近づいたので鐵路總局では鮮滿旅行團の激増を見越してゐるが本年度内地三鮮滿案内所（東京、大阪、下關）に於ける契約總數は三百三十六團体、人員において一萬九千八百四十人に上り、昨年に比し約三割一二五團體五千二百七十五名の増加を示して居り、特に今年の一特色としては京圖線の開通によつて該線經由入滿する旅行者が非常に増加したことで約半數を示して居り、同方面に對する一般の關心が漸次深められつゝあることを物語つてゐる

因みに三鮮滿案内所の本年度に於る契約總數は左の如くである

東京案内所　一四四團体、（六、三九〇名）内約五割京圖方面へ
大阪案内所　一四一團体、（五、九〇〇名）内約一割京圖方面へ
下關案内所　一五一團体、（七、五五〇名）内約二割京圖方面へ

南阿羊毛の急騰で
殘量六千俵の輸入氣遣はる

【大阪國通】南阿弗利加の片貿易調整のための官民協議會の決定に依り、南阿濠洲羊毛俵當り二十四圓を羊毛工業會と南阿向け輸出業者で折半補償状守以來羊毛各社は殘存量一萬二千俵の半數は買つたが南阿市場が本邦註文で急騰して濠洲は低落、値開きは依然三十圓程度で南阿羊毛が市價を維持せば殘額は輸入困難とみられてゐる

日銀週報
【東京國通】

項目	金額
發行兌換券	一、二三九、九四〇
正貨準備	[illegible]
▲保證內譯	
公債	[illegible]
政府證券	[illegible]
證券	[illegible]
手形	[illegible]

華僑の没落（下）

（二）華僑衰退の國內經濟界に及ぼす影響

（イ）本國宛送金減少し、金融圓滑を缺く、當初華僑の送金は毎年一億元以上に達し汕頭一地方のみでもその全盛時代には毎年四、五千萬元に上つてゐたのであるが民國二十年汕頭宛送金は同十八年の二千五百餘萬元より一千七百八十餘萬元に減少し近年益々減少の一路を辿つてゐる、由來華僑の送金は對外貿易貸借の決濟に寄與するところ多大なりしに鑑み、上記送金減少の傾向が國內金融の梗塞を馴致し一般購買力の減退、商工業の疲弊を惹起するは憂ふべき現象といはねばならぬ

（ロ）一部輸出不振より、產業頽廢す、廣東省の對外貿易は素より入超の狀態にあるが、南洋貿易に關する限り南洋に居住する數百萬の華僑のため獨り出超の地位にあつたのである、一例を汕頭の對南洋貿易にとるも、民國九年には新嘉坡等へは二百三十餘萬兩、暹羅へは五百五十餘萬兩、安南へは百三十餘萬兩の出超を示してゐたのである、近年汕頭經濟界の著しく疲弊した一原因として同地南洋輸出貿易の減減、金融界の不況の深刻化せる事實をいふものがあるが眞に適切な見方である、而して右南洋貿易の激減せる原因は華僑購買力の減退以外に在住地の關稅障壁が厳然として存在せることも看過し得ないのである、當廣東省の新興工業が枕を並べて破滅に瀕せるも亦これがためである

（ハ）失業者續出して社會不安増大、廣東省各地には昔より海外出稼人多く而も元年までは出國者數は常に歸國者を凌駕する情勢にあつたのである、然るに近年は全く形勢逆轉し、民國二十一年には汕頭經由南洋移民僅々三萬六千八百餘名なるに對し歸來者實に七萬八百余名を算するといふ慘狀である、これら歸國の華僑が國內產業の疲弊し、農村經濟の破綻せる省內各地に歸還するや、忽ち失業の群に投じ社會の不安を助長するに至るべき事自明の理である

（三）匡救對策「對英米條約改訂に善處せよ」

これらの事象は素より緊急匡救を要する事態にして政府は一面各國との通商條約に於て僑民地位の向上を計り、殊に最近懸案中の對英米條約改訂乃至佛領印度支那との條約問題を上記の趣旨にて取急ぎ切實に處理すると共に、他面日本政府の如く適切に華僑保護增殖の法々樹て萬難を排して實施すべきである

日滿戀曲
生命線を行く
國友雄吉
（荒川芳三郎畫）

（百十三）

一ト足違ひ

折柄伊之助お今は、不在だつた。伊之助と楠本とは、期せずして顔を見合せ、大きな溜息をした。しかし、大きな聲では話しの出來ないやうな話ばかりだつた。

最後に、伊之助が訊いた。

「あんた今まで、何處に居ました？」

「僕か――僕は、ハイラルから、マンチユリー、あの邊を歩き廻つて居たよ」

「何か巧い金儲けでもありましたか」

「駄目だよ。マンチユリーのあの騷ぎがあつてから何處へ行つても、まるで火の消えたやうな景氣だ、おまけに、日本人は、うつかり道も歩けやしないぜ。ハイラルでは僕も危く、支那兵に捕まつてしまふ處だつた」

「それは險呑だ。そして、チチハルへ何か目的があつて、來たのですか」

「實は、尋ねる人があつてね、それが、なか〳〵見つから……

……さんだよ」

「どうせ又、好い玉でも掘り出さうといふんでせう。なか〳〵抜かつてゐないからね――」

「オイ〳〵早合點をしちやいけねえ。女ぢやねえ。僕の搜してゐるのは男なんだぜ」

「男――？　へエ、やつぱり日本人ですか？」

「さうだ。氏家伸一といふ名前の青年なんだ――」

「あッ。氏家伸一！」

だしぬけに伊之助は叫んだ。楠本はびつくりした。

「君、その男を知つてゐるとでもいふのかい？」

楠本は、顔の色まで變へて、思はず膝を進めるのであつた。

「知つてゐますとも――知つてゐるどころぢやない、その男なら、わたしの家に居ましたよ」

「エツ、君の家に――？」

楠本は、再び眼を圓くした。そして家の中を、クル〳〵眺め廻すのであつた。

「居たことは、確かに居たんですがね、それがもう、日本へ歸りましたよ」

「日本へ歸つてしまつた――それは、いつたい、何時のことだ？」

と、楠本はちよつと失望の色を浮べた。

「たつた今」

「エツ。たつた今だつて！」

楠本は頓狂に叫んだ。彼は驚いたのである。

「ホンの、まだ三十分ほどにしきやなりませんよ、停車場へ出かけたのは――」

楠本は、いきなり立ち上つた。そして、大きな金ぐさりの付いた時計を、チョッキのポケットから引出してそれを見ながら、キョト〳〵した。

「オイ君、時間は――？　汽車の時間表はないかね」

「さうですね。今から大急ぎで行けば、あるひは間に合ふかも知れませんよ」

伊之助も、あまり楠本の、あわてかたがひどいので、事情を訊い……違ひもなかつた。」

……はモウ、上り端のところへ……靴をはいて居た。そして靴をはきながら言つた。

「汽車の時間に間に合つたら、僕も、その汽車で、一しよに出發する――では、御きげん宜う――」

そのまゝ彼は、あたふたと出て行つてしまつた。入口の戸も、開けつぱなしたまゝであつた。

伊之助は、あつけに取られて、ぽかんとして、その後を見送つてゐた。

それから間もなく、即ち楠本の狼狽へた姿が、チチハル停車場に現はれたのであつた。

しかし、前にもいつたとほり、それは、伸一が既に出發した後であつた。

停車場へ來た彼は、いきなり係員を捉へてきいてみた。

「ハルビン行きは出ましたか」

「ハイ、たつた今出たところです」

係員の答へは、楠本をガツカリさせてしまつた。いまゝで、夢中で提げてゐたトランクが俄に重くなつてしまつたやうに思つた。

彼はいつまでも、汽車の出て行つたあとを、恨めしさうに眺めて居た。

ソ聯輕爆撃機が滿洲國内へ不時着
越境の事實に嚴なる取調べ
十一日密山縣で

十一日密山縣小興凱湖北方の山中にソビエート赤軍の輕爆撃機が不時着し、操縦者二名は附近の匪賊のため拉致された、此情報を得た滿洲國官憲急行これを救出した上、否むことの出來ぬ國境を越へての飛翔につき嚴重取調べ中である

ソ聯駐連代表部 機構大擴張を行はん

(大連國通)滿洲國の異常な發展に伴ひソヴィエート大連通商代表部扱ひの木材、石油ガソリン、食糧品等の輸入は激増を示し、殊に木材に於てはアメリカ物を驅逐せんとする状況である、右の如き趨勢に鑑み同通商代表部は近く機構の大擴張を實現すべく準備中であると傳へられる

遁入の白系露人 亮九臺方面に移住し開拓に從事

ソ聯邦に於ける共産黨の迫害に堪え兼ねた白系露人六十六名は昨年六月ソ滿國境渾春縣土門子に移住して來たが彼等が安住の地と目指して來た同地に於ても再び共匪の迫害を受け東寧方面に移住した、協和會渾春縣弁事處では之等白系露人は純然たる農民で滿洲國の王道樂土に永住することを希望してゐるので同地憲兵隊と協力延吉の農場經營者三宅信吉氏に依頼し氏所有の未墾地に移住開拓せしめることになり彼等は去る十日亮九臺方面に出發した

解氷と共に滿ソ國境設定 正式交渉開かれん

(ハルビン國通)滿洲國は滿ソ國境線の明確な設定の爲め、近く調査準備委員會を設けて解氷期と共に之が嚴密な實地調査を遂げた上、ソ聯側との正式交渉に入る模樣である

農村追加豫算 可決

(東京國通)政府政黨間で採みに採んだ農村救濟追加豫算を決定すべき衆議院豫算總會は十三日午前十時五十五分開會、追加豫算を上程、討論に入り政友會を代表して砂田重政君

この追加豫算には非常に不滿である、國民は期待を裏切られ落膽してゐる、然し我々はこれに附隨して希望を附することを避け別個の機會に希望決意を表明することとし本案に對してはその儘賛成する

と賛成論を述べ、次で民政黨を代表して工藤鐵男君

本案に對しては我黨も頗る不滿であるがこれ以上追及することも出來ないので一應賛成する

と賛成意見を述べ最後に國民同盟の由谷義治君

政府に農村救濟の熱意を認めることが出來ぬから三案全部に對して反對する

との反對論を述べて討論を了り採決に入り國民同盟を除く全員起立し大多數を以て原案通り可決し午前十一時十分散會したが、右追加豫算案は十五日午後の衆議院本會議に上程と決定

紡聯特別委員會が打電せる 最後回訓追加電内容

(大阪國通)紡聯輸出首腦部は十三日綿業會館に特別委員會を開き前日に追加左の最後回訓を打電した

一、世界綿製品貿易減退は經濟恐慌の必然の結果で英國は著しく減歩して居るが日本綿製品が却つて増加してゐるのは日本綿業の特異性に基くもので日本品發展の基礎的條件は經營の改善努力に歸すべきである、之をランカシアと相對的關係に置いて一方的に制限すべき何等の理由は無い

二、協定の地理的範圍を決定すべき表現方法は全世界とし大ブロックとするも同樣で只協定方法に關する目標を幾分異にするのみ、然るに第三國市場協定に關する効果を第一國産業保護と言ふ名に隱れて日英の比率を決定せんとする行爲は一方日本輸出の實勢を統制せんとするものだ

傷痍軍人に終身年金附與 來る四月一日より

(東京國通)戰爭や事變の犧牲者たる傷痍軍人は從來一時賜金が附與されただけだつたが、四月一日から第一款症から第四款症迄の終身年金を附與することとなつた、大要左の如し

戰鬪に於て第一款症中准士官は三百十二圓、兵は二百六十圓、第四款症中准士官は百五十六圓兵は百三十圓その他の第一款症中准士官は二百五十二圓、兵は二百百圓、第四款症中准士官は百三十二圓、兵は百十圓の割で第二款症第三款症はそれに準じ決定する

英國大海軍計畫「下院に提出さる」
總額五千六百五十五萬ポンド

(ロンドン十二日發國通)九千噸巡洋艦其他多數の建艦計畫を含む總額五千六百五十五萬ポンドの一九三四、五年度英國海軍豫算は愈よ十二日下院に提出された

河本理事等來京

河本滿鐵理事、中西地方部長武部商事部長は十四日午前七時着列車で來京した

緒方大將 十八日着の豫定

陸軍技術本部長緒方大將は十八日午後七時三十分着はとで來京の豫定

小磯前參謀長の送別會賑ふ

小磯前關東軍參謀長送別會は十三日午後六時官民合同でヤマトホテルで開催、定刻まで待合で餘興として酒井雲師の大谷刑部と石田三成と題する文藝浪曲一席を聽き終つて官民約百六十名列席開宴デザートコースに入り主人側代表として荒木地方事務所長惜別の辭を述べ之に對し小磯中將謙遜なる謝辭があり、乾盃して祝福をさゝげ打寛いで歡談八時半頃散會した

正金問題で 國同が藏相の責任を糺彈

(東京國通)國同では十三日正午院内で正金問題で代議士會を開き高橋藏相責任糺彈の決議を可決し總會へ提出した

奉山線に 二、三等列車增發

(奉天國通)治安の回復と共に奉山線の旅客が最近著しく增加し現在のまゝでは非常な混雜を呈するので、今回左の如く奉天山海關に二三等旅客列車を增發、來る十六日より左の如く運轉を開始することゝなつた

△第六四三列車、奉天發午後八時五十分　錦州着〃前二時二十分、山海關着午前八時十五分

△第六四〇列車、山海關發午後十一時、錦州着午前五時十五分、奉天着午後十二時二十分

竹田宮禮子女王殿下 佐野家に御降嫁

(東京國通)竹田宮禮子女王殿下には愈よ十六日佐野常羽伯嗣子常光氏に御降嫁あらせられるが、十三日嚴かな告期の御儀が行はれた

作野延氏 奉天へ

滿鐵新京醫院内科醫員作野延氏は今回奉天醫大に二ケ年間留學を命ぜられ十五日午前九時發列車で離京するので十四日挨拶に來社した

田巡査夫人逝く

新京署高等係勤務田巡査の妻李氏は十三日午後五時ごろ腦充血で死亡した、葬儀は十六日午前十時西本願寺で執行される

人事往來

▲池田長康氏(貴族院議員)十三日午後七時三十分着奉天から

▲石越少佐(關東軍副官)十三日午後十時發奉天へ

▲大田一等軍醫(第〇〇國境病院)外二十一名十三日午後九時十五分齊齊哈爾市から

▲戸田一等軍醫(同上)外三十四名十三日午後十時發奉天へ

▲井上中將(前第〇〇師團司令官)十四日午前九時發南行

▲西中將(東京警備司令官)十四日午前九時發内地へ

▲三毛少將(第〇〇〇〇隊司令官)同上奉天へ

▲揚策氏(北鐵建設局法律顧問)十四日午前八時三十分發哈市へ

鴨緑江の徒渉 禁止さる

(安東國通)南滿に訪れる春の魁け、鴨緑江の下流は打續く數日來の暖かさに日ならずして陰鬱な結氷から解放されるに至るべく既に鴨緑江の結氷は日一日とその厚さを減じて遂に十三日より氷上徒渉禁止布告が發せられるに至つた

海友會長から見舞電

新京海友會長岩坂三郎氏から佐世保鎮守府宛、友鶴遭難に對し左の見舞電を發した、「友鶴遭難に對し誠に愛惜に耐へず、玆に謹みて御見舞申す」右に對し米内司令長官から左の返電があつた「御懇電深謝す」

三國立公園 愈よ官報告示の運び

(東京國通)雲仙、霧島、瀨戸内海の三國立公園正式指定に關しては種々な事情で延引されてゐたが今回愈よ内相の決裁を得たので關係書類を印刷局に回附、官報告示手續を完了した、告示は三月二十二日か三日頃の模樣

自動電話四ケ所 解氷と共に增設

新京市内の自動電話は現在八ケ所に設置されて何れも相當の利用をみてゐるが最近急激に市街地も膨張しこゝにこの解氷期には新發屯から白菊町方面にかけて宿舍その他一萬戸以上の家屋が建設される見込みなので電話局では更に四ケ所の自動電話を設けることゝなり目下設置場所を選定中であるがうち三ケ所は驛前、新發屯、白菊町に内定した模樣である

友鶴の生存者豫想外多數か
意外全艇に亘りコツ／＼應答
救助隊歡喜して作業

(佐世保國通)庵崎救助作業を行ひつゝあつた友鶴は十三日午後七時に至りマストの切斷を完了、浮力を與へ水船を定着させた儘の態で入渠を完了し直ちに空氣ポンプで排水に取掛つた、排水作業は山本工廠長及び造船部長鈴木大佐の指揮で造船部從業員は勿論のこと僚艦千鳥、眞鶴の乘組員は艇友を救ひ出す爲め粉骨碎身の活動をしてゐる有樣は涙なしでは觀られない光景である、救助作業隊は「艇内の生存者が眠つてゐる一大事だ」と云ふので絶えず外部からハンマーでコツコツと叩いてゐるが、意外にも後部船室のみならず艇全體に亘つて内部からの應答が聞え生存者は豫想外に多い模樣で救援隊の意氣は益々揚つてゐる

陛下御軫念

(東京特國通)友鶴は十三日午後七時船渠に入り遭難者全部の收容は十四日完了の豫定であるが、遭難者海軍葬の日取は未だ決定してゐない 天皇陛下には友鶴遭難につきいたく御軫念あらせられ十三日午前十一時大角海相を召させ具さに御聽取、種々有難き御下問を賜はつた

友鶴遭難並に 武藤氏暗殺事件の緊急質問 昨日の衆議院本會議

(東京國通)十三日の衆議院本會議は午後一時十五分開會輸出生糸販賣統制法案其他多數法案を上程討議したが、大角海相は特に發言を求め、友鶴遭難事件の顛末に就き詳細なる説明を爲し議場には一脈の悲壯なる感が漂ひ傾聽する之に對し緊急質問として政友の内田信也君登壇

友鶴は第一補充計畫の一つであり而も進水して任務についてから僅かの數日にして此報を聞くは誠に遺憾である、而も新聞の傳ふるところによれば遭難當時の波浪は三米と傳へられる、これは大して珍らしいものではない、而も佐世保の玄關口に於てこの最新鋭艦がかゝる遭難を起すことは國民の國防安全感を脅かすものではないか而して一方艦内にあつて今尚防水作業に死を以て忠實に當たられて居る將兵に對しては議場擧げて上より遙かに敬意を表するものである、抑々海軍第二補充計畫による六百トン以下の水雷艇十六隻の建造に就ては其性能の點から考へて如何なるものであるかに就き大いに大角海相に御忠告して置く次第である、而もロンドン會議の滿期後たる一九三七年前に十六隻の建造を完成するといふのは如何なる考へに基くものであるか、海軍はロンドン條約の制限外艦艇たる水雷艇十六隻を更に今後も其建造を續けるつもりか

と質問、これに對し大角海相

我々は直ちに最も權威ある調査會を組織してその原因を探求したいと考へてゐる次第である

と答辯、此間海相遭難將兵中援助された人々の名を讀上げた、それより武藤山治氏の暗殺に關する國同の加藤鯛一君より緊急質問あり、即ち

從來ピストルは知名の士でさへも必要と認めたる者のみにしか携帶を許されてゐないものと考へてゐたが、武藤暗殺犯人の福島某は一介のルンペンではないか、かゝる者にピストルを所有せしめて居たことは治安維持上大いなる問題である、この点に就き山本内相に希望意見を述べる

これに對し山本内相はピストル取締情況を述べ加藤君更に首相に責を負ひ辭職する意思はないかと詰め寄り、首相輕くこれを受け流し次いで更に法案の審議に移り外地米輸入統制に關する法案を上程討議された

西尾新參謀長 着任は今夜のハト

新任關東軍參謀長西尾中將は十四日飛行機により午前十一時四十分着京の豫定であつたが天候不良で飛行機を奉天で降り、滿鐵線列車で同夜七時半入京

遭難當時の状況

(佐世保國通)既報の如く水雷艇友鶴は佐世保港外庵崎附近佳夕浦に無事曳航され來り目下鋭意乘組員救出作業を行つて居るが右救出が終るのは十三日午後十時過かと觀られて居るが現在同艇の兩側には浮船四隻をロープで繋ぎ浮き上らせて船腹に穴をあけて救出を急いで居る、尚曳航に成功した龍田乘組の一水兵は友鶴遭難當時の状況に就き左の如く語つた

友鶴は赤腹を上にして漂流中であつた、艇内から乘組員二名が飛び出したので救助せんとしたが激浪に呑まれ再び見えず殘念だつた、霧々浪風とで離航を續けノツトの遲さで曳航中船内よりコツコツノツクする音を聞いた時は男泣きをした

救出された者 十三名に達す 作業は依然續行

(佐世保國通)十四日午前四時までに救出された生存者は合計十三名に達した更に十七名の屍體を收容した、救出作業は依然續けられてゐる

平谷機關中尉の報告に 悲しみの涙 流す遺族

(佐世保國通)佐世保鎮守府下士官兵集會所控室に各地から集つた遭難者の家族に對し僚艇千鳥乘組平谷機關中尉は見舞の言葉と共に遭難當時を報告した

一部船室或は艇の底とも思はれる邊りから刻々とこちらへの合圖に答へる音がするから何人か生存者があるとの見込みはついてゐるが大多數の人は絶望と思はれる、お椀を逆樣にしたやうな形で顛覆してゐるのでマストを切斷する等相當の時間を要した

と語れば家族一同の愛慮は愈よ深まつて行き婦人達の間からは嗚咽の聲さへ洩れて新しい涙を唆つた

其の後 八名救助さる

(佐世保國通)友鶴の脱出者は既報の如く機關兵三名であるが其の後八名が引き續き救助された模樣である、尚救助作業を目擊せる某氏は

友鶴は底部三尺位を海面に出してゐる、工廠では午後七時の滿潮期を待ち入渠させる爲職工を督勵してゐる

と語つた、尚生存者は入渠の上救ひ出しの準備をしてゐる 搜査隊は海及び空から搜査を續けてゐるが午後四時迄に一名の死體も發見されなかつた

友鶴遭難に關する 末次司令長官談

(東京國通)末次司令長官は友鶴の遭難に就て左の如く語つた

友鶴は聯合艦隊に所屬してゐない防備艦だが水雷艇といつても日露戰爭當時の「曙節」と云はれた樣な貧弱なものではなく轉覆する等とは不思議な話だ、あの夜は海は非常な荒天で、この金剛でさへ甲板上は瀧の樣な大波を被つた、五百二十七噸の小艇だから隨分訓練は辛かつた事と思ふ、波浪の爲傾斜して底へ横波を受け、或は窓でも破壞されたのではないかと思ふ、こういふ防備艦を作らねばならなくなつたのも制限の爲めで比率主義撤廢、軍備の平等は當然主張すべきことである

生存者の數 略々判明す

(佐世保國通)工廠ドックに收容された友鶴の救難作業は救護隊員をはじめ係員必死の努力により順調に進捗し十三日午後十時頃ドックの排水に着手したが艇内の生存者に元氣をつけるため壓搾酸素を送る外疲勞のため眠氣を催させぬ爲絶えずノツクしつつ激勵を續けてゐる、只今のところ前部に三名中部機關室に一名後部に八名の生存者あることが略々確認され自力で脱出救助された三名を加へると十五名の生存者あることゝ判明、救難作業隊員は大いに力を得て極力作業を進めてゐる 尚此の外にも中部邊に生存者がある見込みである

查問委員加藤少將以下 現地に急行

(東京國通)友鶴遭難查問委員軍令部加藤少將以下數名は十三日午後九時半東京驛發列車で現地に急行した、尚委員長野村大將は十四日出發の豫定である

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	値
倫敦銀塊 現物	二〇片八分五
倫敦銀塊 先限	二〇片四分三
紐育銀塊	三五留比八分五
米英爲替	四八仙四分三
米日爲替	五弗一〇仙〇〇
米支爲替	三〇弗一八仙
スチール株	三五弗六三仙
アナゴンダ株	一五弗二分一

▲印棉

限月	値
現物	二一仙五五
三月限	二一仙一四
五月限	二一仙二四
七月限	二一仙三五
十月限	二一仙四一
十二月限	二一仙九
一月限	二一仙六九
ブローチ	二〇〇留比
オームラ	一七二留比
ベンゴール	一三六留比

▲上海標金

項目	値
昨止	九四二五〇
高値	四四一〇
安値	四三一〇
本寄	四七〇〇
歩値	四五〇〇

▲上海日本向

回	値
第一回	一一七一二五
第三回	一一七〇〇〇

▲上海倫敦向　一志四片一六分九

▲上海紐育向　三五弗四分一

▲大連金鈔票

項目	先	近限
現物	一三八五〇	一三三五〇
寄付	一九九五〇	
歩値	一三九五〇	
引値	[illegible]	
止値	[illegible]	
高値	[illegible]	
安値	一八五〇	
出來		不申

各地市場

▲大連上海向　九六一五　一〇〇

▲大連臺灣向　九六三五

▲阪神日米爲替　第二回　三〇弗〇〇〇　三〇弗八分一

▲大阪株式

限月	値	値
大株新	一三八三〇	一三一六〇
大紡新	一三一七〇	一三三八〇
鐘紡新	二四〇〇	二三三〇

▲同短期

限月	値	値
同新	一三九七〇	一三六八〇
大新	一三三九〇	一三三九〇
東新	一七八〇〇	一七七六〇

▲大連株式

銘柄	値	値
五品	二八七〇	—
先限	二八九〇	二八九〇
豆新	—	—
錢鈔	—	—

▲大阪三品

限月	値	値
當限	二〇四〇〇	二〇四〇〇
四月限	一九六一〇	一九六〇〇
五月限	一九五九〇	一九四九〇
六月限	一九五九〇	一九五一〇
七月限	一九六一〇	一九五三〇
八月限	一九六八〇	一九六〇〇
先限	一九六五〇	一九六五〇

▲大阪棉花

限月	値	値
當限	六一〇〇	六〇九〇
先限	六二五〇	六二三五

▲大阪期米

限月	値	値
當限	三三〇〇	三三九六
中限	三三八	三三三七
先限	三三七三	三三六一

▲仁川期米

限月	値	値
當限	二〇九九	二〇二四
中限	—	—
先限	二〇四五	二〇九九

▲橫濱生糸

限月	値	値
現物	五七〇〇〇	五七〇〇〇
當限	五七六〇〇	五七六〇〇
先限	五八〇〇〇	五八〇〇〇

▲神戸豆粕

限月	値	値
三月限	一三九	一三九
五月限	一三二	一三二
六月限	一三四	一三四

▲カルカッタ麻袋

項目	値
青筋	二七留比一六分七
職筋	二四留比八分三
爲替	一七八留比〇〇〇

▲大連特産

●麻袋

限月	値	値
現物	[illegible]	三七七五
四月限	[illegible]	三七七厘
出來高		四万枝

●大豆

限月	寄	引
袋込	三一九	三一三
三月限	三二〇	三一三
四月限	三二三	三一五
五月限	三一七	三一六
六月限	三二一	三二三
七月限	三二五	三二六

●豆粕

限月	寄	引
現物	一〇六五	一〇六〇
三月限	一〇五〇	一〇六〇
四月限	一〇七〇	一〇五五
五月限	一〇六五	一〇六〇

●豆油

限月	寄	引
現物	八一〇	八一五
三月限	八一〇	八〇〇
四月限	八一〇	八〇五
五月限	八一五	八〇〇

●高粱

限月	寄	引
現物	一六四	一六四
三月限	一六三	一六一
四月限	一六四	一六二
五月限	一六六	一六四
六月限	一六六	一六五
七月限	一六六	一六九

新京市況

特産	現物	出來高
大豆	七一四〇	一〇車
高粱	七一〇	八車
小豆	八三〇	二車

錢鈔	値
鈔票對金票	一二三[illegible]
現大洋對金票	一二四[illegible]
國幣對金票	一二四[illegible]
現大洋對鈔票	九四[illegible]

電話料金の拂 日本人は成績が惡い
二月中の通話停止六人も全部日本人ばかり

新京市內における二月末現在電話加入者は二千八百四十三名、この使用料金は毎日分を一ケ月前支拂ふことゝなつてゐるがこれが納付狀況をきくに毎月末日の『期現』までに納付するものは約半數である、これが納付成績を日本人と滿洲人について見るに滿人の大部分は期限までに納付し一部殘つたものも大低は電話の督促によつて直ちに納付するので責狀による督促をするやうなことは稀であり從つて通話停止をされるやうな加入者は滅多になくこの程電話局から發した百二十三通の督促狀もうち滿人加入者は僅か二名でその他は全部日本人の加入者而もこれらの加入者は毎月その顏ぶれが同一なので電話局でも大いに手古摺つてゐる模樣である、これは滿人の方が日本人より金錢上のことについては責任感が強いといふ以外に滿人の加入者は概して實直で虚勢をはるがために加入するものがなくこれに反して日本人の加入者にはみえをはつて門戶や店頭は堂々たるものがあつても『內幕』が火の車の苦境にあるものがかなりある關係上僅か月八圓か十圓の使用料が支拂へないものとみられ、二月中に通話停止をされたものが六名でこれも全部日本人であるそれでも事變前のやうに年中殆んど通話停止をされてゐたものが幾人もあつたときに比べると成績がずつとよくなつたわけであると電話局では語つてゐる

劍道敎師の妻 喧嘩の末夫を刺す

南嶺兵營彈藥倉庫劍道敎師東郷數馬(三九)氏は十三日午前二時ごろ妻はぎ(三五)と口論し妻女は炊事場から食刀を持出し夫の腹部につきさし重傷を負し大騷ぎとなり直に滿鐵病院に入院加療中である

滿洲國オリムピック參加問題
日滿兩体協代表の正式協議了る
具體的決定を將來に殘し

滿洲國體育協會は日本體育協會代表と共に十三日午前十時半より午後五時半迄協議を『繼續』したが右協議の結果を談話の形式で左の如く發表し滿洲國の極東オリムピック大會並に萬國オリムピック大會參加に關し重大なる決意を暗示した

滿洲國體育協會並に國際競技準備委員會の折衝委員は大日本體育協會使節澁谷、竹越兩代表と十二日正式會見を了へ又本日茲に協議を行つた結果極東選手權競技大會並に萬國オリムピック大會參加問題に關する今後の方針及び態度につき圓滿なる結論を得たり、本會見並に懇談に於て今後處置に關する大綱はその大部分の協議を終りたるも尚若干審議の保留したるものあり、右は兩使節歸國後に於て大日本體育協會の最後的意見を求めたる上更に細目に亘る日滿兩者の協議を行ふ豫定である、思ふに滿洲國參加に關しては國際情勢上種々困難なる問題前途に横はると雖も我等は更に愼重協議を重ねあくまで協調主義に則り日滿兩國從來の關係に基き一貫不變、これが最善の方策に向つて勇往邁進することに決せり、尚本日の懇談に於て大日本體育協會使節は滿洲國參加問題の成行が萬一最惡の狀態に陷るが如き場合に於ては日本側に於ても重大なる決意を爲すに至るも已むを得ざるべしとの意向を有せらるゝに對し滿洲國側委員は茲に深甚なる敬意と滿腔の感謝の意を表するものなることを附言す

尚右發表後滿洲國體協代表は正式會見はこれで一先づ打切るが非公式懇談、個人的意見交換等は機會を捉へて行ひ度い、又日本側澁谷、竹越兩使節は交々『南嶺』の綜合運動場を見たが東洋第一だと折紙をつけ、歸國の豫定については向四、五日滯京諸般の殘務を了へてからだと語つた

滿洲國ラグビー協會 結成

滿洲國ラグビー協會では今春のシーズンを期し滿洲國並びに關東州滿鐵沿線諸チームを包含し、在滿日滿兩チームの障壁を撤廢して名實伴ふ滿洲國ラグビー協會を結成すべく近く大連の日本ラグビー協會滿洲支部との間に折衝する筈で、既に兩者の意見一致をみて居り、他競技に先じて劃期的なラグビーの獨立を斷行することゝなつた

大躍進を期待される
滿洲國ラグビー
新選手の入部決定

滿洲國政府ラグビー、チームでは、春季シーズンを期して大飛躍をなす可く陣容充實につとめ、新選手を物色中であるが、既に入部決定せるものは、東都七大學リーグで活躍した立敎ラグビー部主將槇島、糸居兩選手、東大出の松川、岡田選手及立敎出のスリー、クオーター顕原選手の新京轉勤等があり、昨シーズン活躍した主將靜波專賣公署副署長、古海人事處給與科長の老將はじめ、東大出の尹、池田、長谷川、南滿工專出の鹿毛選手等も非常な元氣で、本シーズンこそは全滿に覇を唱ふべく本月下旬より猛練習を開始することゝなつた 同チームの新陣容竝に協會チームのスケヂュール左の如し

▲フォーアード、ワード
靜波(主將—東大)相馬(東大)古海(東大)飯澤(東北大)尹(東大)池田(東大)黑田(拓大)小熊(旅順工大)鵜沼(東外語)長谷川(東大)三上(東大)松川(東大)岡田(東大)槇島(立敎)植田

▲バック
糸出(立敎)顕原(立敎)鹿毛(南嶺工專)佐々木(新京商業)水上(旅順工大)上倉(工專)小橋(工專)橋本(本牧中學)植木(新商)

スケヂュール「△印は外來 ○印は遠征」

□四月八日(日)
滿洲國—奉天滿鐵 西公園 三時
中銀—滿電 同二時
□十五日(日)
滿電—滿洲國 新京商 二時
滿鐵—中銀 同 三時
□廿二日(日)
中銀—商業 中銀グ 十一時
滿洲國—滿鐵 新京商 二時
□廿九日(日)
日滿對抗試合 西公園 二時半
□五月六日(日)
△奉醫大—滿洲國 同
□十三日(日)
○滿洲國—大連滿鐵 大連 一時半
○中銀—工大 同 二時半
滿電—商業 新京商 二時
□廿日(日)
中銀—滿洲國 中銀グ 二時
□廿七日(日)
滿鐵—滿電 新京商 二時
□六月三日(日)
商業—滿鐵 同二時
□十日(日)
滿洲國—商業 同二時
□十六日(土)
中銀—商業 中銀グ二時
□十七日(日)
○滿洲國—撫順 撫順 二時

街の日記

廿、廿一日 書道展覽會、 來る二十日、二十一日の兩日西廣場小學校で書道展覽會を開く、出品は全國小學校、中等學校生徒や、斯界權威者の傑作品を蒐めたもので總點三百餘りである

愛知縣人會員 酒井雲招待 目下長春座で開演中の文藝浪曲酒井雲の出身地が愛知縣であるところから新京愛知縣人會の有志は十四日午後一時から八千代館に招待懇親會を開くと

新京キネマの 替り映畫 新京キネマは十四日から三日間左の映畫を上場する、マキノ正博監督杉山昌三九、花井蘭子主演の(岩見重太郎)瀧花久子、伏見信子主演の『朝風の海は歌ふ』千葉泰樹監督の谷幹一、田村邦男主演『僕の青春』何れも見のがすことの出來ぬ面白い映畫ぞろひ

拾ひもの
▲新京署河野巡査は十四日午前一時四十分ごろ東三條通十番地先で銀側懷中時計一個を拾つた
▲三笠町四丁目三番地田中太平氏は十三日午後一時ごろ東三條通二十番地先で現金二百圓、朝鮮銀行百圓紙幣二枚を拾つた
▲新京署揚巡捕は十三日午後二時ごろ南廣場で交通整理中オペラバック一個在中國幣十圓、五圓一枚、一圓二枚、五十錢二枚、香水一ビンを拾つた
▲領事館署谷口刑事は十三日午後四時二十分ごろ南廣場で黑皮製蟇口一個、在中鮮銀一圓三枚、五十錢銀貨一枚、白銅貨取混ぜ錢、認印一個(竹野)を拾つた

落しもの
▲南嶺五里堡濱田百稔氏は十三日午前八時より同九時の間三笠町郵便局から水仙町陸軍官舍に行き馬車から下車の際風呂敷包在中、雜誌寒暖計、百二十圓替爲、手紙を落した

盜難屆
▲東二條通十七番地淺野勝太郎氏所有自轉車一台を十三日午後五時十分ごろ蓬萊町警察官舍前で窃取された
▲同町二丁目二十六番地奈良眞次氏所有自轉車一台を十三日午後十時ごろ自宅前路上で窃取された

城內の內鮮人 二萬〇百八十一人
昨年より二倍の增加

新京の人口は附屬地、城內ともに急激に增加した、特に城內の內地人は著しいものがある、新京總領事館署調査によると二月末日の管內內鮮人は一萬百八十一人、內男五千九百七十三人、女四千二百六人で前月に比すると一千二百七十四人の增加で、なほ昨年二月末日に比較すると五千五百一人の大激增を示してゐる、今城內居住の內地人のみを見ると五千三百二十七人、內男三千百八十四人、女二千百四十三人、(寬城子を除く)で派出所別にすると次の如くである

	男	女
本署	七一九	五五八
北門外	九七七	七〇九
新發屯	一四八八	八七六

雪は けふ一日
寒さは增す

暖い春の訪れの前兆ともいふべき雪が三日もふり續いたが新京觀測所では次の樣に語る
雪は今日一杯でせう、四日とつゞくことはない、三日も降ることさえ珍しい程です、三月は雪の降るチャンスが多い、けふの新京における氣壓は七百四十ミリで四平街以南は全部晴れてゐる今日一杯は天氣も惡いが明日は晴れるだらう、天氣が良くなれば寒さも少し嚴しくなるが二月ごろのやうなことはない、けさ午前五時の氣溫新京零下十一度、けさの滿洲での最低は開原の零下十五度、奉天が零下十三度、チチハル、ハルビンはともに零下六度
尙午前十時新京の積雪は六・八センチ

チヽハルは 電話不通

チヽハルから新京鐵道事務所に達した情報によれば十三日以來の吹雪のため電話不通となり特產の出廻殆どなく積込みも不可能となつた

常設館か劇場
一、二許可されるか
兩署保安係で協議

本年一月以來新京署、同總領事館署の兩保安係へ市內の有志から常設館並に劇場の設置許可願が六件願出されてゐるので兩保安係ではこれが許可について種々協議を重ねてゐたが現在の新京キネマ、長春座のみでは市民に滿足をあたへることが出來ず、且つ新發屯並に城內に居住してゐるものは非常に不便を感ずるので一、二館の許可は當然と見られ十四日午前十一時ごろ新京署井之上保安主任、總領事館原保安主任は總領事館署に會合し極秘裡に協議を進めた

川原部隊けふ 凱旋の途に!
驛頭で本社記者に語る

武勳赫々その名は全滿を風靡した川原少將の率ゆる第〇〇隊第〇〇隊は隊長永瀨大佐が輸送指揮官となつて十四日午前十時五十五分吹雪の中を新京に凱旋した朝來の寒氣は身にしみたが、凱旋將軍の歡迎に市民は降る雪を侵してホームまで迎へたい やがて隊長川原少將はヤマトホテルへ落ちついたが、武裝を解く間もなく、午後二時五十五分いよいよ京圖線經由で內地へ凱旋した、驛貴賓室に休憩の川原將軍はまづ令甥川原次郞氏を呼び寄せて「俺も年をとつたがお前も隨分ふけて來たね!」流石の將軍も甥の前では好々爺振りを發揮した

記者「こんどの戰ひでは度々命拾ひをされたさうですね

將軍「ナーニ今度は何のことはない日露戰役とくらべると大したことはなかつたよたゞ匪賊討伐だからね凱旋といふ程ぢやない

勿論宣戰布告されたのではないから戰爭とはいへぬ、相手が支那人だから戰爭ゴッコさ

ここまで語つた將軍はあらためて次の通り語る

昨日奉天でのメッセーヂの外何もいふことはないがあれ(メッセーヂ)でいひ殘したことが一言あるから貴紙を通じて在滿全邦人に次のことをいつてくれ

□

從來の在滿邦人は果して支那人に對してどんな態度をとつて來たか、やましいことはなかつたか、支那人をブツ、なぐる、など皇國日本國民としての本當の手本を示して來たか日滿融合のなつた今日は、從來の如き態度は捨てゝ天子さまの御心を體してますます滿洲國人の手をとり本當に育てゝ行きたい、それが理想的な東洋平和の保持であり、幾多の忠靈や尊き不具傷兵に對してのご恩返しである

高女卒業式 いよいよ明日
受賞者全部決定

新京高等女學校第七回卒業證書授與式はいよいよあすの午前十時から擧行されるが受賞者は次の如くである

滿鐵總裁賞 淸水イヨ子
優等賞 淸水イヨ子 下岸 幸枝 植月 照子 西川すみ江 (以上四名)
本學年中優等賞 淸水イヨ子 下岸 幸枝 植月 照子 西川すみ江 山田サエ子 蓑田加津榮 波多野淑子 米田 磯子 (以上八名)
五ケ年皆勤賞 淸水イヨ子
五ケ年精勤賞 波多野淑子 藤井 房代 山縣 笑子 (以上三名)
本學年優等賞 岡田 笑 蔡 正子 鵜內 嘉美 西尾 利子 濱田美穗子 藤井 房代 松田フジエ 三川喜代子 稻川ミヅエ 植月 照子 大葉 節子 勝木 良子 金 聖德 淸水イヨ子 多田 光子 (以上十五名)
建康賞 山縣 笑子
學級役員功勞賞 淸水イヨ子 波多野淑子 西川すみ江 安達 茂子 下岸 幸枝 植月 照 (以上六名)
校友會役員功勞賞 西尾 利子 石黑とく子 波多野淑子 山縣 笑子 (以上四名)

高女送別會 珍藝續出

旣報、新京高等女學校卒業生送別會は校友會主催で同校講堂で十三日午後一時から開催まづ四年の塚本孃の開會の辭に始り
一、送辭 四年 谷
一、記念品贈呈
一、會長挨拶
一、謝辭 五年 下岸
一、送別の歌 全員
一、余興
一、校歌、全員
一、閉會の辭 四年 藤
の順序のプログラムによつて進められ中でも余興に入つては一堂に會して送るもの送られるもの何れも腹をかゝへて笑ひ喜々として袂別の情すら忘れられた樣な感があつた

忠靈塔建設の 應募圖案を一般に陳列

忠靈塔建設委員會では曩に忠靈塔の圖案を懸賞募集中であつたが、應募圖案は五百餘點に達し、その成績頗る優良で苦心の跡著しきものあるに鑑み十五日午前九時より午後四時まで西公園前側の軍司令部舍內にその全部を陳列し一般の觀覽に供する事となつた

國道局の 轢逃げ運轉手 科料に處さる

十二日午後十時ごろ市內曙町一丁目入口交叉點で富士屋タクシー第二一一號が中央通から城內に行く途中前記場所にさしかかつた際突然滿洲國々道局乘用車二十二號(運轉手九鬼智中(二七))が曙町側から飛出し富士屋タクシーの後部に衝突し二十圓の損害を與へ逃走した、取調べの結果國道局運轉手九鬼智中の不注意と判明し、十五日新京署で科料十圓に處せられた、同人は昨年十一月新京署で免許のかどで科料二圓に處せられたものである

サロンコクトで 三百圓失せる

市內祝町三丁目サロンコクト主人大久和辰太氏が十三日午前十一時四十分ごろ現金三百圓(朝鮮銀行十圓紙幣十枚、同百圓紙幣二枚)を同家二階におき階下におり約四十分間用たしをなし二階に上つて見ると、三百圓の姿が見へず直に新京署に屆出た

けふの銀相場

鈔票對金票	一三三四〇
現大洋對金票	一二五三〇
國幣對金票	一二四五〇
現大洋對鈔票	九四五一

慶安異聞 艶魔地獄（百九十八）

（講談上演 映畫化）　玉水三郎　（繪）長谷川小信

小心者（六）

其翌朝の事であつた。松平伊豆守は奥村權之丞を呼んだ。

「權之丞、内密に申聞けたい。他聞を憚る事ゆゑ、家來共を遠ざけよ」

嚴めしい申渡しであつた。權之丞は次室に控へた四五人の近習達に君命を傳へると、一同は倉皇として立去つた。

「ハツ、最早何人も居りませぬ。御用の趣き仰せ聞けを願ひまする」

「餘の儀でもない。昨日其方は予の申附けを承はつて、町奉行神尾備前の許へ參つたな」

「ハツ、參りましたが使者を以て、御申渡の儀でございまして……」

「オヽ、それも聞いた。實は昨夕至急の用事あつて、備前守に出仕を命じ、種々申し談じたが、其折備前が申すには其方は主用の後、親しき朋友の儀に就て、彼府の模樣を詳しく尋ねたな」

「ハツ、御意の通り」

「それは予も許しての事ゆゑ、決して咎むるものではない……が金井半兵衞と申す者に就て樣々尋ねたる由であるな」

「ハツ、左樣にございます」

「其方は常に軍學武法を、牛込榎町の由井正雪に學び居るな」

「ハツ左樣で……」

「金井半兵衞は正雪が無二の友であるの。其方は他の氏名を申したる由であるが、實は金井半兵衞の安否を問ふたものであらうな」

權之丞は廉直な士であつた。又武藝劍術に達して、若手の英俊として、將來を嘱目されてゐるが、唯一つの缺點は、臆つて小心翼々の青年であつた。

現に丸橋忠彌から、紀州侯へ奉公替へを勸誘された時にも、優柔不斷で時を後らせた。

大川樵之進の娘と婚約の成る際にも、妨げの入つたのを、其儘にして原因動機も確めずに、愚圖々々としてゐた。

さうした此人の短所で、臆つて小心が嵩じて、臆病な事も屢々であつた。飛鳥山と氷川の暴漢襲撃にも、今一歩進んで敵を屠る事はせず、又其後も届出で一つせず、獨り苦惱してゐた。

常に恩寵を蒙つて、神の如く思ふ主君の一喝にハツと逆上した。

「恐れ入りました」

疊に額を擦りつけて、畏まり入つた。

伊豆守も彼れが小心と正直を愛してゐたので、又不愍にも思ひ、

「權之丞、悔悟致さば敢て咎めはせんが……コレ權之丞、金井なる者と餘り深く交はるな。一婦人の爲に無益に由緒ある者と知り合となり、其身は大罪犯したる者の同類の如く見なされ、行方詮議中ではないか。予は昨夕此一事を町奉行より聞き、市井の一瑣事として深く心にも止めぬが、其方の親しき友人と聞くと、一應は其方に申聞け置かんと存じたまでぢや、決して叱るのでないぞ」

優しい主君の一語に、權之丞は益々恐縮して、冷汗背に洽く顏は赤くなり、又蒼白くなつた。

「もう可い。家來共を呼べ……ドリヤ登城の用意を致さん」

權之丞は伊豆守登城の後、不快と稱して邸内の長家へ引取り、獨り悶々として小さくなつてゐた。

三月十五日　木曜　舊二月一日　乙酉　友引　破　斗宿

- 一白の人　有利と思ひし事も時期かず不快に閉ぢらる　辛と亥と艮が吉
- 二黒の人　花も萎み實も結ばず萬事不滿足に終る凶日　甲と丙と丁が吉
- 三碧の人　努力次第にて意外の幸福の湧き出づる吉日　庚と辛と戊が吉
- 四緑の人　手落の無き樣心配りをすれば喜びを招入る　乙と庚と辛が吉
- 五黄の人　平穩の中に不慮を免れず堅實に定業を守れ　甲と丁と癸が吉
- 六白の人　溌剌たる意氣を以てすれば良果を掴み得る　乙と申と戌が吉
- 七赤の人　深き自信を胸に抱きて直進すれば望を遂ぐ　甲と乙と申が吉
- 八白の人　意氣盛なれど力足らず滿足するに至らぬ日　丙と申と壬が吉
- 九紫の人　花に嵐月に叢雲兎角思ふ儘にならぬ不安日　巳と丙と庚が吉

大正九年十二月四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

昭和九年三月十五日　新京日日新聞　（木曜日）　第四千十一號　（一）

山積する法案を議了し得るや否や
目鼻がつけばと閣内にも 會期延長論擡頭

〔東京國通〕總豫算は十四日貴院で可決されたが追加豫算は未だ衆議院にあり其の他の重要法案選擧法改正、治安維持改正法、日銀金買入法案など未だ審議中であり米穀對策は政府内の無統制により議會提案が遅延し十三日緊急上程された、會期はあと九日に過ぎず山積する法案を議了し得るや否やは頗る疑問であり、會期延長には政府は表面これに觸れるのを避けて居たが二十日前後審議進行程度に目鼻がつき會期を三日延長すれば通過確實といふことになれば齋藤首相は各黨幹部各派交渉委員へ會見を求め延長につい て會談すべしとの意見が閣内に有力である

九年度豫算成立
貴院も無修正で可決

〔東京國通〕十四日の貴族院本會議は午前十時開會、豫算案を上程し討論の後無修正で之を可決した、斯くて今年度豫算は貴衆兩院を通過成立した

安藤中將 離滿

〔大連國通〕待命を仰付けられた前旅順要塞司令官安藤紀三郎中將は十四日午前十時大連出帆の「うすりい丸」で旅大官民多數の見送りを受け離滿上京の途に就いた尚同船にて滿洲視察中の海軍中將長谷川清氏も離滿歸京の途についた

施政綱要（九）
國務總理大臣 鄭孝胥

ハ税務監督署出張所を安東、營口其他十ケ所重要なる地域に開設し之が指導監督を常時化した

ニ根石鐵道運輸執照制度出産根石税の改正と共に根石鐵道運輸執照制度を創設し鐵道に依り運送せらるる根石は運輸執照を所持することを要し、之を所持するに非ざれば鐵道は之が運送又は寄託の申込に應ぜざるの制度を確立し以て不正業者の脱税を防止し併せて出産根石税の徴収に伴ふ税務官吏の不正行爲を艾除することとせり

ホ税務講習所を財政部内に設置し優秀なる税捐局員を選拔養成せんとす

二、税關　我が關税徴收機關は接收以前より他の租税徴收機關に比し形式内容共に整備せられたるも我國情と合致せざるものあり、之を我國の現實に即して改革して其地位權限を明確ならしむると共に貿易の急激なる發展に伴ひ税關事務に通曉せる官吏を採用し又關税講習會を開催し之が質的充實を圖れり又三税關及數個の分關並に分卡を增設し緝私網を擴充し、密輸出入の取締を嚴重にし主要都市に小包檢査所を設けたり又不合理なる税關金單位及海關兩を廢止し國幣建を採用せり

三、會計制度の近代化　豫決算國庫金其他會計の方面に於て近代的制度と技術とを採用し之が普及確立に全力を盡し、豫算拘束力を強化して豫算統制の實を擧げんとし今や略々其の目的の大半を達したり

一、歳計總豫算の樹立　元年三月より六月に至る建國年度の月別豫算を含む大同元年度豫算を經て、二年度總豫算に至り滿洲國に於て最初の又民國時代を通して未曾有の眞の意味における歳計豫算を樹立せり、此の二年度總豫算は熱河省及東省特區を包含し、遍く全國に亘り軍隊、官廳學校其他あらゆる國の機關及施設を洩らさず之等の收入支出の總てを計上せる眞の總豫算にして金額は一定根基に據り現實に積算して見積り國の機關は悉く之に拘束せられ、恣に其の外に出づるを得ず、總豫算に對する例外は單に特別會計と追加豫算とに局限せられたり、之等は總て舊時代に於て夢想だにせられざりし事なり

二、預金制度の確立　從來各省の保有せし所謂省庫金廳庫金其の他各機關個々に有せる所謂公欵預金を極力集中して中央銀行の國庫預金に統一し、之と同時に鋭意歳入金は收納後直ちに此の一の國庫預金に拂込み又歳出金は此の一の國庫預金より直接債主に支拂ふ如くし、以て豫算の統制を強化徹底すると共に國資の運用を經濟的ならしむるに努力し、其の結果は豫算收支の膨脹と相俟つて建國當初僅か百萬圓に足らざりし中央政府の預金は今や常に三十萬圓を超ゆる狀況に在り

三、決算制度の確立　豫算統制の徹底を圖ると共に國家財政の實績を明かにし、之を公明ならしむる爲め決算制度を確立し、既に建國年度に付ても其の收支の決算を爲し、大同元年度歳計に對しても豫算に對照して決算を行ひ、目下監察院に於て其の審計中なり

實業部と司法部に 新に司を置く
きのふ官制改正案勅令で公布

滿洲國の國有林はその面積約三千六百萬陌、國有原野も亦五十萬陌を下らないのでこれら林野の合理的開發經營および整備充實は產業上きはめて緊急を要するので今回實業部新に林務司を設けて專ら林野方面の行政を司り、更に司法部においてもこの際民事および刑事に關する事務を區分々擔して司法事務の整理と敏速を圖るため、總務、民事、刑事行刑の四司を設けることとなりこれに伴ふ國務院各部官制中改正の件は左の如く十四日の勅令で公布された

實業部は五司

大同元年敎令第六號國務院各部官制中左の通改正す

一、第四十條を左の通改む
實業部に左の五司を置く
總務司
農務司
林務司
鑛務司
工商司

二、第四十二條を左の通改む
農務司は左の事項を掌る
一、農事及耕地に關する事項
二、開墾に關する事項
三、畜産に關する事項
四、水産に關する事項

三、第四十二條の二を左の通改む
林務司は左の事項を掌る
一、森林及原野に關する事項
二、狩獵に關する事項

四、第四十二條の二の次に左の一條を加ふ
第四十二條の三　鑛務司は左の事項を掌る
一、鑛山及鑛物の精錬に關する事項
二、地質に關する事項

司法部は四司

五、第五十五條を左の通改む
司法部に左の四司を置く
總務司
民事司
刑事司
行刑司

六、第五十六條を左の通改む
總務司は左の事項を掌る
一、機密に關する事項
二、官印の管守及文書に關する事項
三、人事に關する事項
四、會計及庶務に關する事項
五、所屬機關の設置廢止及管轄區域に關する事項
六、調査及統計に關する事項

七、第五十七條を左の通改む
民事司は左の事項を掌る
一、民事及非訟事件に關する事項
二、民事及非訟事件の裁判事務に關する事項
三、戸籍及登記に關する事項
四、提存調解及公證に關する事項

八、第五十七條の次に左の一條を加ふ
第五十七條の二　刑事司は左の事項を掌る
一、刑事に關する事項
二、刑事の裁判事務及檢察事務に關する事項
三、恩赦に關する事項
四、犯罪人の引渡に關する事項

九、第五十八條を左の通改む
行刑司は左の事項を掌る
一、刑の執行に關する事項
二、監獄及看守所に關する事項
三、少年矯正及免囚保護に關する事項

附則
本令は公布の日より之を施行す

西部隊の第二陣着奉

〔奉天國通〕西〇團の凱旋部隊第二陣〇兵第〇〇聯隊、〇〇第〇隊の一部〇〇〇名は十四日午前十時四十五分在奉官民多數に迎へられ、元氣一杯で着奉した、同部隊は十四日午後臨時列車で新京經由京圖線で内地に凱旋する筈である

河用砲艦の建造費決定

河用砲艦建造費に關する件は十四日の勅令を以て左の如く公布された
江防艦隊整備費に屬する河用砲艦建造費一百六十八萬一千四百十二圓を限り康德元年度に於て國庫の負擔となるべき契約を大同二年度に於て結ぶことを得

關東廳並に關係方面に對し請願書を提出すると共に諒解を得る豫定である、尚銀行は資本金五千萬圓の大銀行である

滿鐵辭令

新京地方事務所土木係長
技術員　奧津　五郎
奉天地方事務所土木係長を命す
地方部工事課
技術員　鴫打　秀利
新京地方事務所土木係を命す

尙豫測許さず
英國側新覺書に對する我回答 昨日會商で正式通達

〔ロンドン十三日發國通〕ランカシア綿業團の新覺書に對する回答は十四日の第六次會商に於て日本代表部から正式に通達されることとなつた、回答內容は日本代表部從來の主張を反覆力說してランカシア綿業團の反省を求め次の二項を指摘したものと確聞する
一、新覺書は協定の地理的區域を各國別に區別してゐるが實質的には舊覺書に關する此の點の條項と何等變りがない
二、世界的不景氣に伴ひ綿製品の輸出が世界的に減退したのを理由に日本品の輸出だけを制限仕樣とする提案は一方的で相互的な協調を目ざする日英協調の精神に反する
以上日本代表部の回答に對しランカシア綿業團が十四日の會商で再考の餘地がないと拒絕すれば日英協議會はここに決裂となるが第四次會商で決裂は免れまいと觀られたにも拘ず最後の瞬間にランカシア綿業團の新提案で持越した例もあり協議會の前途は俄かに豫想出來ない

桑島局長の持論を地で行く
山西の鑿井に人夫を派遣 對支井戸掘り外交

〔東京國通〕外務省桑島アジア局長は天津領事時代から對支外交は井戸掘り外交でなくてはいかぬと云ふ持論であつたと云ふのは支那は何處へ行つても用水に惱んで居るから日本の優秀な技術で各地に井戸を掘つてやれば支那の民衆は非常な好感を持つに極つてゐると云ふのであつた、ところが最近山西省自動車製造所技師仇慕章といふ人が中央蒙協會の星野理事を訪れ、山西省一帶のひどい旱魃被害を訴へ灌漑用井戸を掘るためポンプ機械と井戸掘り人夫の周旋方を依賴して來た、星野理事は十三日外務省を訪れこの話をしたので桑島局長はすつかり乘り氣になつて「愈よ僕の持論が裏書きされた譯だ」と大いに喜び、この機會に人夫の一隊を支那へ派遣し井戸掘り外交を地で行かうと大變な意氣込みである

長はベルリンに於て兵器製作專門の技術家數名を招聘する契約をなし、且兵器製作に必要なる多數の最新式機械及び兵器、軍需品を購入した、右價格は明瞭でないが約一億元に上ると謂はれる

南京政府最高軍事顧問
ゼ將軍渡支

〔南京十四日發國通〕ベルリンよりの情報に依れば蔣介石の最高軍事顧問として支那軍改革に當るのハンス、フォンゼークト將軍は六日ベルリンを出發赴支の途に上つたが、尚目下渡歐中の廣東砲兵工廠

對中南米の貿易振興策に
先づ輸出組合創立

〔東京國通〕中南米の片貿易調整を目的に商工省の斡旋で輸出組合が輸入組合に補助金を交付し同市場よりの輸入を增加せしめその反面輸出增進を企圖してゐたが補助金交付には往航路運賃を値上げし之を復航路運賃に割當てる形をとることに關係者の意見一致を見先づ輸出組合を創立することになつた

遭難艇友鶴の救助作業
殘りの八十三名は何れも絶望か
應答の氣配遂に絶ゆ

〔佐世保國通〕友鶴は徹宵排水救助に努め士官候補生の手の空いた者はハンマーで艦板を叩き元氣付け、午前零時五十分より孔鑿作業を始めたが惡瓦斯侵入を怖れアセチレン瓦斯の使用を避け鑿で穿け、遂に午前一時五十分柳出三等兵曹他一水兵を救ひ出し海軍病院へ收容した、同午前二時艇內と聯絡完全に執れ搜査の結果十三死体搬出凱旋記念館に安置した、二時三十分井上田島兩三等主計兵曹人事不省で發見されたが、田島はその後絶命した、五時半水兵三名の死体發見、五時半には救出のため孔が二つ開けられたが六時には外よりのノックにも既に應答はなく死体又は救出された三十一名を除く殘りの八十三名も全部艇內にゐるか判らず生死は絶望視されてゐる、尙判明せる死亡者中三等主計兵曹下士以上の氏名は厚本善夫、長野半八、三等主計兵曹古賀茂の諸氏

悲壯！遭難當時
脫出した三名語る

〔佐世保國通〕救助作業が開始されてから眞先に友鶴を脫出した松田一等機關兵外二名は佐世保海軍病院に收容されて靜養を續けてゐるが遭難當時の悲壯な狀況について交々次の如く語つた
非常に苦しかつたので滿身の勇を振つて艇內を飛び出したら意外にも水面に出てゐたそこでよく助かつたと言ふ氣がした、別に嬉しいとも何とも思はなかつた、今考へると今日（十三日）の午前中が非常に苦しかつたが或時は樂な氣持もした、その時が壓搾空氣や酸素を入れてくれた時だつたのでせう

救出された十三名

〔佐世保國通〕十四日午前五時四十五分までに判明せる生存者は十三名で氏名左の如し
一等機關兵小松國一、二等水兵上野信好、一等機關兵石原俊行、一等水兵松田卓爾、二等水兵松本利憲、一等水兵穴藤廣義、二等水兵笠井武雄、一等機關兵小岡昇、三等兵曹柳田捨一、二等兵曹戸田惠
右の他既報の三名

幹部は全部攫はれたか
海軍當局の推定

〔東京國通〕海軍當局では岩瀬艇長以下の幹部の生死に就ては椿事が訓練作業中に起きて居り訓練作業中は必ず艇長以下幹部將校は艦橋に在つて諸員を指揮して居る譯だから恐らく顚覆と同時に殆んど全部激浪に攫はれて仕舞つたものと推定してゐる

凱旋記念館に祭らる

〔佐世保國通〕十四日午前二時迄に死体十三柱を搬出されたが哀れ猛練習の犧牲となつた十三士の死体は第五、第六船渠の假收容所でいとも懇ろに淸めた上、凱旋記念館に移送、此處に祭壇を設け早くも供物花環が捧げられ香煙縷々と立ち上る中に渴やかに設置が始まれば堪へ兼ねた遺族達は一齊にすゝり泣き涙ぐましい情景を呈してゐる

中銀週報
自康德元年三月四日
至四年三月十日

紙幣發行額	三〇、五六六、六〇八、〇〇〇（六）
準備	六六、五六六、五四四、六〇
保證	六三、九三一、四三三、六〇四
鑄幣發行額	四、一〇一、〇四三、八六

產業銀行設置
地委聯合會で協議

〔奉天國通〕十三日全滿地方委員會聯合會で特別委員附託となつた滿洲產業銀行設立に關する特別委員會は十四日午前九時より奉天溫泉ホテル貴賓室に於て開催、協議の結果名稱を滿洲產業銀行促進特別委員會とし宮川隆氏を委員長に推薦、各委員を任命事務所を奉天江ノ島町宮川氏宅に設置することに決定、趣意書定款事項、目論見書及び請願書の起草に着手することとなつた、脫稿の上は直ちに軍部

全滿參事官會議
二十三日より

滿洲國民政部では帝政實施を機會に來る二十三、二十四、二十五の三日間新京に於て全國參事官會議を開催すべく準備を進めてゐる、會場は新京商業學校が高等女學校かに決定すべく、出席者は參事官約八十余名に上る見込みで各省首腦者、中當局關係者關東軍日本大使館、關東廳關係者多數臨席の筈である、なほ同會議では來る七月一日より實施の地方行政制度改革問題、治外法權撤廢問題の如き附議するものと見られてゐる

竹內隊凱旋

竹內中佐の引率する〇〇隊は十四日午後二時三十五分到着午後六時發內地へ凱旋した

天氣と氣温

けふの天氣西の風晴、きのふの氣溫、最高零下三度五、最低零下十二度四

滿洲國御大典映畫 歐米で大もて
パラマウント會社で撮影 全歐洲で公開さる

大典の盛儀を映畫を通じて全世界に知らしめるため米國サンフランシスコから特に派遣されたパラマウント撮映主任ラッカー氏は十三日ニューヨークおよびロンドンで同時に公開市民に多大の感動をあたへた旨の吉報を滿洲國政府へもたらした、同フイルムは一日の諸儀式を撮映したフイルムを一は航空便で横濱におくり二日午後三時横濱出帆のエンプレスアジア號で米本國へ一はシベリヤ經由ロンドン支局に急送したもので十四日は全歐洲において公開したはずである

赴日特使一行 顔觸れを發表
隨員全部で十九名

滿洲國の赴日本國修聘特使は鄭國務總理、熙財政部大臣と決定十四日國務院から正式に發表があつた、尚これが隨員は十九名の豫定でありうち九名は左の如く十二日閣議で內定他の十名はこゝ數日中に決定をみることゝなつてゐるが一行は本月廿一日午前九時新京發大連經由で海路神戸に向ふことゝなつてゐる

國務院總務次長阪谷希一、同白井康、總務廳秘書官維潛、外交部理事官朱之正、財政部理事官星野直樹、同事務官胡宗瀛、吉林公署參事官趙汝楳、同秘書官羅振邦

室町校の兒童文集
廿五周年記念に發行

本年恰も創立二十五周年を迎へた新京室町小學校では記念事業の一つとして兒童文集を發行準備中のところ漸く出來上つた、右は毎年發行される「芽生」第十六號を記念號とし三百頁に亘る大冊で全校兒童中から選んだ優秀作品を集めたもので經費の大部分は保護者會で負擔し全校兒童に頒布した

御下賜金で施飯

畏き邊りでは御大典に際し貧民救濟の思召から遼源縣に金一封を御下賜あらせられたが縣當局では之を世界紅卍字會遼源分會に依託したので同分會では三月八日より三日間午前十時より午後五時迄約五千人の貧民に對し施飯を行つた

臨時列車運轉

大連鐵道事務所では三等旅客輻輳の爲め大連發大連、奉天間下り列車を十一日より奉天發大連間上り列車を十二日より當分の間臨時旅客列車の運轉を開始して大連奉天間の旅客輻輳に資する事となつたが本臨時列車は旅客の模樣に依り編成車の增減をなす事になつてゐると

吉林省內通信網
擴充を圖る

【ハルビン國通】滿洲國政府では今回吉林省內通信網の擴充を圖るため差當り經費百二十一萬圓を以て電線二千キロを架設することゝなつたが右は四月中には完成の見込みで完成の曉には省內に於ける時間的に又距離的に著しく短縮されるべく大いに期待されてゐる

定期航空缺航

十四日朝來の降雪の爲め十時半新京發ハルビン行き定期航空は缺航となり、また奉天、新京間の定期航空も午後一時迄の各地の天候狀態を調査の上決定するが、多分缺航となるもようである

帝政實施に伴ひ 獵官連の入滿
頻りに躍氣の運動

滿洲國の青史を飾る帝政實施の北支方面に及ぼせる影響は有形無形に甚大なものあり殊に北支居住の蒙古族及び淸朝舊臣は之を以て淸朝復辟として續々滿洲國に來り獵官運動に躍氣となつてゐるが、淸朝時代の侍從武官を務めた遜肇天氏（六二）も二月末北平城內宣武門の邸宅を出で新京に來り城內四馬路大滿洲旅館に投宿し寶熙氏、羅振玉氏等との深交ある關係上之等の知名の士を訪問し獵官運動を續けてゐる、同氏は明治四十年頃淸朝より派遣されて渡日し故の西園寺首相と會見した事あり、淸朝沒落後は北平に住ひ現在に至つたものである

青訓後援會の役員會開催

新京青年訓練所では既報の通り十五日午後四時半から商業學校會議室で座談會を開き右終つて引つゞき同青訓後援會の昭和八年度會計收支決算報告並に九年度新幹事委囑、新會員募集及び豫算編成に就ての協議を行ふ旨役員に通知されたが所要時間は約一時間くらひである

大同學院入學詮衡
昨日から開始

第三回大同學院第一部入學志願者中その詮衡を新京で希望したものに對しては十四日から新京同學院で詮衡を開始したが期間は三日間である模樣である

小娘を虐げる 大膽不敵の女
車中醉拂つて發覺

【四平街支局發】去る十日午後十時四十分四平街着第二三旅客列車警乘員から年頃廿二三の一婦人と年若き少女が舉動不審の故を以て四平街署に引渡された嚴重なる取調べの結果二人は本籍山口縣玖珂郡柳代村吉本とそ（三一）同縣熊毛郡平尾町濱口マチエ（一七）で吉本は熱河省に駐屯せる第〇〇〇隊の酒保に勤めてゐたが去る六月郷里に歸り濱口を軍隊の酒保で働く樣に世話してやると巧みな口實を以つて渡滿せしめたが、酒保には連れ行かず錦州附近のカフエー料理店に働かせをき自分は熱河に入り外賓子に料理店を開業したので七月二十七日濱口を引取り密賣淫を強要した處濱口が拒絶するので吉本は暴行を加へつゝ強て賣淫行爲を爲さしめ其の上一錢の小使錢も渡さず泣く〳〵働きつゝあつたが十一月一日軍隊の引揚と共に奉天に出でチチハル方面で一儲けを仕樣と十日同地を出發北行中吉本は乘車前強かあふつた酒の氣嫌で女の鮮に醉狂を始め濱口に車中人前で暴行を加へるので車掌に注意され警乘員に疑はれ終に四平街署に渡されたものであつた、尚ほ濱口は四平街署の取りはからいで吉本から旅費金五十圓を出金せしめ傷ける心を抱いて懷しの故郷に向つた

ソ聯の密偵
博克圖で捕はる

【ハルビン國通】北鐵西部線博克圖驛南方に於て同地方の白系露人自警團はソ聯の密偵を逮捕し身柄は博克圖驛の警備司令部に引渡され目下取調べを受けてゐると、尚右密偵は自警團に三千元を提供して高飛びせんとしたが、はねつけられたものであると、これも九州出身者が大多數を占めてゐる

列車顚覆を企つ

【ハルビン國通】十三日北鐵東部線葦沙河方面で貨物列車第九十三號を脫線顚覆せしめんとした者があつたが討伐隊が直ちに出動したので賊は何れかへ逃走した爲め列車は無事であつた

北鐵線延着

十四日午後三時二十五分着哈市からの上り列車は途中積雪のため二五分延着午後三時五十分到着した

夜の街に咲く女性の 出身縣別調べ
各界とも長崎バッテンが筆頭

新京署保安係の調査による二月末日の管內藝妓、酌婦、女給、ダンサー、旅館、飲食店の雇婦女の內地人總數は一千二百三十九人で、內藝妓四百三十五人を筆頭に女給三百六人、飲食店百五人、旅館女中百六十三人、料亭仲居百九人酌婦五十六人、ダンサー六十一人で、これ等の出生地を調べて見ると藝妓、長崎縣五十七人、福岡縣四十九人、大阪府三十六人、東京三十六人、北海道三十四人、廣島縣二十一人、兵庫縣十八人、熊本縣十八人、愛知縣十六人、京都府十五人、大分縣十四人、其他百二十一人

▲女給長崎縣五十三人、福岡縣三十四人、熊本縣二十二人北海道十六人、山口縣十六人東京十五人、佐賀縣十四人、愛媛縣十三人、大分縣十三人其他百十人

▲飲食店雇婦女長崎縣十四人北海道十二人、熊本十人、大分縣八人、愛媛、山口、福岡各六人、佐賀縣四人、其他三十九人

▲旅館女中、長崎縣二十三人熊本縣三十七、大分、佐賀十二人、福岡縣八人、山口、愛媛九、北海道四人、其他三十九人

▲料亭仲居熊本縣十三人、長崎縣十一人、福岡、北海道七人、東京、廣島六人、愛知、山口五人、京都四人、其他四十一人

▲ダンサー東京八人、長崎縣七人、兵庫六人、大阪五人、北海道五人、他三十人でいづれも

學窓を巢立つ 歡びの乙女達
新京高女の卒業式 けふ午前十時から擧行

新京高等女學校第七回卒業證書授與式は十五日午前十時から擧行されるが式次第は次の通りである

一、國歌
二、勅語奉讀
三、唱歌（奉答歌）
四、卒業證書授與
五、賞狀賞品授與
六、學校長式辭
七、總裁告辭
八、來賓祝辭
九、在校生總代送辭
一〇、卒業生總代答辭
一一、卒業生保護者挨拶
一二、唱歌（卒業式）

卒業生氏名

赤垣淺子、朝直敏子、足支子、東操、天野秋子、石黒さく子、伊藤靜子、稻垣鈴子、稻川みづえ、植月照子、鵜飼留子、牛木まみ、浦元彌壽子、江森ナツ、岡出笑、岡本シゲコ、大葉節子、勝木良子、木村貞子、金聖德、楠原ミヨ子、小林梅子、近藤タツ、齋藤正子、柴田惠美子、淸水いよ子、下岸幸枝、田井允子、高畑春子、高町和、田北敏子、竹內喜美、多田光子、德本容美子、西尾利子、西川すみ江、西島ヒサ子、野瀨智惠子、野田敏子、波多野淑子、濱田美穂子、速水フユ、廣本フヨ、藤井房代、松井成子、松田フジエ、松田美代子、三川喜代子、薬田加津榮、水池碧、安武富美子、山縣笑子、山田さえ子、米田磯子

卒業生の謝恩會

けふ卒業する新京高等女學校五年生五十四名は十四日午後一時より講堂で謝恩會を開いた、在學五ケ年或は四年三年とそれ〴〵お世話になつた先生ともいよ〳〵お別れとあつて思ひ〳〵に謝辭物語りをやつて終りにレコードの[illegible]や東京音頭など手踊りまで飛出し午後四時半「螢の光窓の雪」を合唱して散會した

新京醫院異動

新京醫院內科醫作野延氏はさきに奉天醫科大學へ留學を命ぜられたがその後任の鹿子生滿氏は奉天醫大病院から十三日着任した、なほ作野氏は十五日午前九時發ハトで奉天へ向け出發の豫定である

居住消息

▲松本銳一氏（長崎縣）大徳から吉野町一丁目十九番地ノ四へ
▲根上正氏（靜岡縣）日出町六丁目二番地拓殖大學新京研究室へ
▲荻原次行氏（同上）同上へ
▲淸水萬流氏（宮崎縣）同上へ
▲池田儀一郎氏（山形縣）同上
▲龍出實美氏（宮崎縣）同上へ
▲執行常治氏（佐賀縣）同上へ
▲生駒浩氏（長崎縣）同上へ
▲大竹幸嘉氏（福島縣）同上へ
▲上野讀二氏（埼玉縣）同上へ
▲赤堀勇八氏（靜岡縣）哈市から老松町一番地へ

轉居

▲谷口重孝氏 和泉町三丁目一番地から曙町三丁目十八番地ノ二へ
▲田島治郎吉氏 日本橋通り八十二番地から入船町四丁目十五番地へ
▲山崎芳男氏 敷島通り三號から大經路四號へ

藤井佳三郎氏の奇特

忠靈塔建設寄附金募集の寄託を受けつゝある本社は三月十日迄の分金五百二十五圓を去る十二日右建設委員長岡村少將に手交し、同少將から出納擔任委員日吉一等主計正に還附されたことは既報の通りであるが、十四日には市內朝日通り五九藤井佳三郎氏來社、金十圓を寄託した

滿洲國の現行關稅 速に改正せよ
新京側の提案は何れも可決 地委聯合會に出席して 大原議長歸る

十二、十三の兩日間奉天萩町滿鐵社員倶樂部に於て開催された滿鐵地方委員會聯合會に新京代表委員として出席した大原新京地方委員會議長は沼田委員と共に十四日歸京したが該聯合會の模樣につき大要左の如く語つた

今回の聯合會は非常に緊張した會議で議案の如きも五十二件に上り各委員は頗る熱心に之れを討議した、出席者は「各地」代表委員四十三名うち新京は私と得丸黑田の兩君までであゝ、而して滿鐵の中西地方部長多田地方課長、關東廳の安永地方課長等も列席の下に議事が進められ豫定の如く十三日午後會議を終了したが新京提案の四件即ち

一、全滿人力車營業稅輕減方滿鐵に要望の件
一、邦人奥地進出妨害除去方關係當局に要望の件
一、免囚保護機關將當方要望の件
一、聯合會の已決事項中附屬地自治制施行促進方常任委員に要望の件

のうち末項自治制促進方要望の件は已に再三要望した事でもあり、又奉天提案の旣決事項の實行促進方要望の件に「包含」さるべきものであるとの理由から自發的に該案を撤回する事となつた外他の三件は悉く可決した、最後に新京より緊急動議として前關東軍參謀長小磯國昭中將に感謝の意を表しては如何と諮つたところ滿場一致の贊成を得たので直ちに地方委員聯合會の名を以つて同中將に對し「東洋平和のため不眠不休の努力を拂はれ遂に今日滿洲帝國の覇業成れる事に對しては玆に滿腔の感謝の意を表す」の意味の電報を發した、なほ今次の聯合會に於て特に熱意を以て協議された事項は、滿鐵附屬地關稅改正要望、滿鐵教育施設の充實方要望、滿鐵附屬地農耕地料金の件、等で滿洲國關稅問題は「日本」側に取り非常に大きな問題なので排日政策に基いて制定した國定稅率による關稅を其儘踏襲してゐる現在の滿洲國關稅はこの際速かに改正すべく滿洲國當局に嚴重要望するの必要があるとの聲高く又敎育施設の充實に就いても各地委員とも大なる關心を持ち在滿邦人が滿洲に根強く發展するため又我が同胞の滿洲進出のための大要件でもあるから滿鐵に對し其充實方を要望することに決した

なほ同聯合會の常任委員會は任期滿了したので十三日の會議終了後改選の結果、新京、四平街、奉天、安東、撫順、大石橋、瓦房店の各地方委員會が新たに常任委員に當選したと（寫眞は大原氏）

新京地方事務所の 土木係長更迭
後任は特に水道の理解者

新京地方事務所土木係長奥津五郎氏は奉天地方事務所土木係長に榮轉、その後任に本社地方事工事課技術員、鴨打秀利氏が不日着任するはずだが奥津氏は昭和七年十一月二十日新京地方事務所工事係土木主任として着任、事變後の首都建設に努力した人、最近土木係に昇格して初代の係長として今日に至つた人である

奥津氏は語る

氏は往訪の記者に語るいつ一番ごた〳〵した時にこちらへ參りまして一通りは片付けたが水道、道路の點においてまだ心殘りしない譯でもないが基礎だけはやつたから今年は昨年程に水問題も起らないでせう、何といつても昨年が一番過渡期でした、水も昨年は千トンしかなかつたが既に大千トンの送水は附屬地側で出來その外に滿洲國側から三百噸の補給をうけてゐるから水は大丈夫です、なほ同氏は十五日午前九時發列車で新任地奉天に赴き一應引返して後任者と事務引繼のうへ、奉天正式赴任するが後任の鴨打氏は本社工事部にあり水道を專問に永らくやつてゐた人、新京の水問題に對しては非常に力を入れたものである

忠靈塔寄附者名（三）

新京日日新聞社取扱

一金十圓也 朝日通五九藤井佳三郎氏 計金五百[illegible]圓

訃報

▲朝日通り二十五番地の二河村二十三郎氏妻女久代さん十三日午後四時五十分死亡
▲大屯滿鐵社宅中村八郎氏妻女ナエさん十三日午後一時三十分死亡
▲祝町三丁目七番地の四渡邊義雄氏十二日午後七時二十分死亡
▲花園町三丁目一番地二十九の一川村鮮藏氏十三日午前十時死亡

幼稚園長　光岡慈昭

最近京新日新聞の發行になる書册を手にした、これは印度の詩聖ラビンドラナータゴールの「有閑哲學」である、彼は「有閑哲學」に就て「諸君は私の考へを聞き度いと望まれる、東洋に於ては、私共の文化も亦た其の傳統も有閑を養ふべき特殊の機會を持つて來た事を諸君は知つてゐられるだらう」こう彼は書き初めてゐる、又た彼は「古の道」なる著の中に

私は知つてゐる、東洋に於てはまだ詩人が尊敬せられてゐることを、ウパニヤアドの中には神が最高の詩人として描かれてゐる

人間社會に於て、私は職業として有閑を代表してゐる事として、又たそれが推薦の價ある事として少しも疑問を挾まれない

一羽の不運な黑鳥が、その餌を探すことも、巣を營む事も敵を避ける事も知らずに唯だ歌を唱ふことを專門としたならば、仲間の鳥共は決して彼を賞めず、それが餓死するのを見過しにしそれで死んだならば結局幸と考へるであらう、

諸君は私をその黑鳥と同樣に取扱はない、それが動物的生存と人間界の文化との間に莫大なる差異の存する證據である

思ふにタゴールの有閑哲學の使命は有閑の價値に就て語らうとしてゐる、そしてその序説に日本のたれでもが知つてゐる日本の物語を引用してゐる、それはこうである

猿と蟹が握り飯と柿の種を交換したい握り飯は一時猿の腹を充たしたけれども、ただそれだけであつた、正直な蟹は柿の種を地に蒔いた、芽が生え、幹が伸び、葉が茂り、花が咲き、さうして遂に實を結んだ、柿の種は空腹を充たさなかつたが、そのみすぼらしい小さなもののうちに永遠の生命が宿つてゐたのである

これは小學校一年生の教科書に出てゐた物語りである、この一齣は樣々な人が色々に觀察したい全般の物語は、倫理學に考へ、宗教的に眺めたがこうした哲學の領域に押し廣げて觀察することも出來る、日本の女性をはぐゝみそだてゆくこうとする教育の道からハヤクメヲダセ、ダサヌトハサミキルぞと逐次追かけてゆく氣持は一面日本人を敵情性を更に表現しのかもしれぬが、それで益々日本人を短氣にするものだと盛んな議論もあつた樣である、われ〳〵佛教學の立場から考へたときは全般の脈絡として因果應報の寓意としながめることも出來る。然しタゴールの如く人間の觀察の明敏さは驚くに値する、有閑は動物性を除去した人間文化の觀察であることはいふまでもない

ラビンドラナタゴールは曾つてタゴーの花の香を漂せなが……

海の外から

赤十字國際會議　和蘭代表決る

本年十月、東京に開催の第十五回赤十字國際會議に對する和蘭赤十字社並に和蘭國政府の代表者として同國豫備陸軍中將タエイ、シー、ディエ……

ソヴエート政府の種蒔き用飛行機

ソヴエート政府では豫て飛行機で種蒔きする實驗を施行してゐたが從來の種蒔き器の七倍能率を有することが確められたので愈よ本年度から種蒔き飛行機を製作西歐から漸次シベリヤ方面に擴充五ケ年計畫の一助とすることに決した

珍物博に　一吋四方の書籍

米國の或る好事家は過去五ケ年間かかつて歐米の政治史全編を一吋四方の小形書籍に作り上げ、近く市俄古で開催の珍物博に出陳することとなつたが厚さの方が五吋といふ滑稽味たもの

踏切に明鏡を設備

米國鐵路當局では線路の踏切り或はカーヴ場所等に長さ人身大の標柱を立て上部に「明鏡」を備へ付けて交通事故防止の一助とすることになつた此の設備の爲め通行人や自動車などは何んの苦もなく列車の進行を豫知することが出來るといふ、尚右の鏡は三分の一哩以内迄の景物は寫し取ることが出來ると

四平街

佛教青年會役員其他決定
發會式を擧行さる

先般來石岡地方事務所長始め在四各機關主腦者發起人となり設立された四平街佛教青年會は會員募集中であつたが這回約二百餘名の會員を得たのでこのほど午後七時からこれが發會式を當地本派本願寺に於て左記式次に依り擧行され午後九時散會した

一、國家合唱
二、詔書捧讀　石岡地方事務所長
三、嘆佛偈　栗山布敎使
四、發會之辭　栗山布敎使
五、役員選定
六、講演　日本文化と佛教　栗山布敎使
　滿洲國の將來と國民の覺悟　内樫大尉
七、閉會の辭
八、退席

尚役員選定に左の如く決定

會長　石岡地方事務所長
理事　伊保内機關區長　山中郵便局長　猪苗代警察署長　岩井保線區長　富田電燈會社專務　大尾驛長　添田地方委員議長　多田電報電信局長　以上

花柳病豫防講演

四平街署衞生係では花柳病豫防に關して常に嚴密なる檢査を勵行之れが萬全を期しつゝある處最近此種の疾患入院者多き實狀に鑑み十二日午後二時より滿鐵倶樂部樓上に於て四平街滿鐵醫院醫學士末吉彌吉氏の「花柳病の人體に及ぼす害毒及びこれが豫防」と題する講演會を開催、料理店營業者五、雇婦女（仲居）五藝妓二四、酌婦二〇の多數參會好成績を收め午後四時終了した

匪賊討伐の犧牲　警官慰靈祭

去る七日昌圖縣警察隊員は匪首青龍好、青山好の率ゆる合流匪約八十名が第十區八里堡に來襲したとの情報に接し二ケ中隊之れが討伐に出動し、折からの大暴風下の大激戰に彈丸盡き遂に警察隊分隊長以下六名の戰死者を出したが來る十五日正午から昌圖縣城内商務會前廣場に於てこれが慰靈祭を執行すると

梨樹治安維持會

十三日午後一時から四平街守備隊將校集會所に於ては第九回梨樹縣治安維持會開催され四平街守備隊長、梨樹縣警務局長、松木屬官、警務指導官其他各關係者數名集合左記議題に依り協議午後三時終了

一、保甲自衛に關する件
二、解散自警團に關する銃器取締りに關する件
三、滿洲國四平街協和會の施療工作に關する件

青木警部赴任

四平街署青木警部は這回鄭家屯署長に榮轉十二日午後零時五十分發四洮線にて官民多數の見送裡に出發した

新刊紹介
少年倶樂部四月號

▲子供雜誌の書入れ時學校の……刷り出された

▲平常でも驚異ぶりの鮮やかなので評判の雜誌だけに特大號の踏張り力は、斷然他誌にその比を見ない

▲附錄の繪卷大日本史（うらが國史風俗大寫眞帖）は物もよいがその狙ひのよさを、この雜誌の讀者の最も多い五六年生以上の兒童が歡迎することと請合の、堂々たる參考書顏る結構なものである

▲讀物では「譽の硏究」が一番感動させられた事變中の滿洲派遣軍への慰問袋から生れた美談でむろん實話であるが、相手が純眞な小學生であり熱血の帝國軍人であり、話が徹頭徹尾純情と至誠で終始してゐるので非常に氣持のよい讀物だ

▲時節柄「優等生になる座談會」も歡迎されるであらう前田曙山の「火炎櫻」「昭和遊俠傳」平田晉策「青空に微笑む」久米正雄「狼隊の少年」大佛次郎等々夫々に面白いが「仲よし圓タク」が號を重ねて益々興味が加はり山中峯太郎の「星の生徒」の愉快に朗かなのは、特に傑出してゐる。

▲「星の生徒」に因んで陸軍將官連の「幼年學校時代」を蒐めたのは思ひつきだ

▲相變らず勉強、大勉強の本誌だが、此號は特に文字通りの内容豐富であり、進級お祝ひ大懸賞までついてゐるのは、どこまでも抜目がない

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	二六四	チ鯛	六〇
チヌ鯛	五三	アマ鯛	六七
小鯛	八五	鯖	一一〇
ブリ	四五	スヽキ	二〇〇
サバ	三二	星カレ	三二
ヒラメ	二三	ボラ	三五
コチ	一七	キス	四〇
イシ	二六	ニシン	一四
オコゼ	二七	アブラメ	二七
タコ	二六	イヒタコ	二六
甲イカ	八〇	ヤリイカ	四〇
車エビ	六六	コエビ	四五
アナゴ	一八	赤ナマコ	五〇
貝柱	二六	アワビ	六〇
カキ	三〇	カマボコ	四五
糸入	五三	水イカ	二〇
タラコ	一三	ホタテ	一四
カニ	三八	オバ	三六

日本の聖女

生田葵 作　南部龍平 畫

六八　切支丹道場の奇蹟（十）

伏見街道筋も十町目になつて、大佛の南寄り邊りは、京の町と云つたところで、家並の、處々には竹やぶがあつたりして、とんと、田舍道と異らない、靜かさであつた

伏見人形を商つてゐる店が見られるのも、此の道筋の風情で屋號をそめ拔いた旗を立てた茶店と、何れも伏見稻荷へと參詣した人を目當ての商賣振りであつた。

然うした町を東へと小道を曲つて行くと、兩側には、わら屋作りの農家や瓦師の廣場や、もつとひの仕事場などが見らるゝのであるが、今日は何うしたことやら、そんな小道の上を經驗した婦女や杖をついた老人などが三々五々とつらなつて行く。

彼方に見ゆる小丘の裾に、以前は此邊の大地主がすんだ大きな家ではあるが、沒落して了つた後、永らく空屋になつてゐたのを、先頃から、うら若い女の灸點師が住むやうになつて、此の施行をするやうになると、忽ち繁昌し、さうして、人が囲ふやうになつたのである。

殊に今日は三の日に當り、四州に在る寺から、その灸點師の師匠の老尼がやつて來るので、一層に人が集まつて來るのであつた。

「さあ、お上りなさりませ。下駄札をお渡しいたします」

その灸點師の家の門をくぐり、玄關から上つて行かうとすると、其處には十歳から十三歳頃迄の女兒が多勢ゐて、はき物の始末をしてくれたり、こう云つて合札を渡してくれるのである。

灸點術を施してゐるのは、玄關に續く十疊と六疊の二間で、其處にはもう多勢の人がゐならんでうら若い女灸點師と老匠の二人に灸……

老尼が、伴天連お高であつて、うら若い女灸點師は、お蓉なのである。

お蓉は三條磧上げの鬼儀の家から、藝州吉兵衞や數之丞の手に依つて救ひ出されると、一夜、二夜は興譲院の吉兵衞が買求めた家へと匿つたが、何分にも其の家は鄰舞夫の孫七や富藏の眼にふれてゐて、何時どうした風の吹廻しで、みつけられるか知れたものぢやないので、さらに吉兵衞のはからひで此家へひき移つて來たのであつた。

此家にしても吉兵衞がなにかの役にたてやうとして買求めおいたもので、今では灸の施行所とは表向き、實はお蓉がつかさどるマリヤのお憐みに依つて設立せらるゝ孤兒院であつた。

「大慈大悲の子育觀音樣、まもらせたまへ」

灸を繪へたものはさうとなへて子育觀音の御厨子の前に跪して禮拜してゐた。

其座敷の床の間には厨子の中に納められた子育觀音がかざつてあつて、前におかれた線香立に突きさゝれた線香が細いけむりを眞直ぐに立てゝゐた。

「熱い、苦しいと云つても一ときの辛抱、人の世に生きる方法とてその通り、」

「熱さも、苦しさも忘れられる」とが出來ないと思つたなら、大慈大悲の子育觀音樣、まもらせ給へと唱へたが可い。立ちどころに熱さも、苦しさも忘れられる」

若い女灸點師も、然うした説法をするのであつた。

「大慈大悲の子育觀音樣、まもらせ給へ」

灸をおろしながら、老尼もうら……灸の熱さに堪へられないのか、灸を受けてゐる總ての人が、さう口に念じてゐた。

祝大満洲帝制實施

火災保險
攝津海上火災保險株式會社
社長 村田省藏
本店 大阪市北區堂島濱通
代理店 滿洲國主要各都市ニアリ

火災保險 運送保險 海上保險 傷害保險 自動車保險
大阪海上火災保險株式會社
社長 新庄清一
本社 大阪市北區堂島濱通
代理店 三井物産株式會社各地支店 福昌公司 國際運輸 日隆公司 浦塩商船組

泉州堺 岡村平兵衛謹製

丁子油 並に御打粉

刀劍拭用 防寒必用

刀劍は手入を怠ると直ぐ曇り・錆等を生じます。
刀劍御愛好家に是非御使用願ひたき優秀刀劍油……

刀劍よ汝は何が好物だ
『ハイ泉州堺岡村の丁子油が大好物拙者の爲には不老不死の良藥欠くべからざる滋養品なり尚岡村の打粉を以て御手入被下度』
ヨシ聞屆く安ひ事だ其方が錆び曇りが有ては予が精神も曇る様に思ふ
『ハヽ忝なし此上は幾千萬年經過候とも疲れざるは勿論毛頭錆生する道理決して有なし（舶來品亦は他家製は御斷申）報恩には謹んで君を守り奉り社會の平和を祈るべし若し不幸にも一朝事あらば向ふ處何者乎あらん馬でも人でも一刀兩斷……』
嗚呼愉快汝を見ると心涼しく精神サツパリ致す實に汝は善を助け惡を悔改させ善に導く我日本の神器なりと賞す

用法

一手ヲ洗ヒ清メ鹽氣ヲ去リ丁子油ヲ母指及人指シ指ニ着ケ（或ハ脫脂綿ニツケ）鋩元ヨリ切先ニ至ルマデ刀橡ハ勿論表裏トモ充分其油指ニテ拭ヒ奉書紙ノ能々揉ミタルヲ以テ其油ヲ充分拭ヒ去リ然ル後打粉ヲ輕ク打チ又其粉ヲ完全ニ拭ヒ取リ而シテ後精シク點驗スベシ。點驗ヲ終ラバ再ビ丁子油ヲ極薄ク塗リテ鞘ニ納ムベシ。カクスル事月ニ一回怠ル事ナカレ
一刀身ノ水氣鹽氣血液等ニ觸ル時ハ直チニ丁子油ト打粉ヲ以テ手入スベシ。

効能

一丁子油ト打粉トヲ以テ手入ニ注意アラバ幾百年ヲ經過ストモ毛頭錆ヲ生ズルノ憂ヒナク地及トモニ冴ヘ渡リ一見戰々兢々タリ地金ハ實ニ深淵ヲ臨ムガ如キ心地ノ思ヲ生ズ
燒刃ハ降リツム雪ノ如ク輝沸ハ暗夜ノ群星ノ如シ匂ヒハ朝日ニ輝ク峯ノ山櫻ノ如クナルベキ特効アリ若シ少々ノ錆アル刀モ此ノ丁子油ヲ用ユレバ朽ヲ止メ切味ヲ不變ニ保存スル効力アリ
一此丁子油ヲ皮膚ニ能々磨擦成サバ雪中ニテモ倘寒傷ノ憂ナク且ツ外部ヨリ來ル諸毒ヲ妨グノ大効アリ
一此油ヲ塗リテ履カバ靴摺レ等ノ憂ナシ

定價表

品名		定價
一、丁子油	小	金三十五錢
	中	金五十錢
	大	金八十錢
一、御打粉		金五十錢
一、刀劍御手入用具一揃桐箱入		金一円三十錢

◇書留小包送料並に荷造費實費申受けます
◇ハガキにて御注文下されば即刻代金引換郵便にて御送り致します（代金引換五錢增）
◇振替による御注文はハガキより四五日遲れますから豫め御承知置き願ひます

大阪・長堀橋
髙島屋通信販賣部
振替口座＝大阪九二番

春物品揃
優良品豊富
相場表送呈
半衿問屋
井上良商店
大阪市東區安土町四丁目

切味と耐久力を誇る
国産代表マンモン印。
高級金剛砥石
製造發賣元
各種金剛砥石製造販賣
並ニ研磨材料専門
MANMON
金剛砥石ノ男石標
最高權威
MANMON GRINDING WHEELS
Corundum
MANUFACTURED BY MANMON GRINDING CO.
大阪市西区新町通五丁目
雲谷名會社
電話新町二二一八番